

「一株株主」チツソ総会へ 水俣病 患者ら

白装束の巡礼姿で

企業責任、じかに追及

二十八日大阪で開かれるチツソ（江頭豊社長、本社・東京）の株主総会に「一株株主」として乗り込む水俣市の水俣病患者家族ら廿五日午前十一時三十九分水俣駅発着行「かいもん号」で出発した。

一行は患者本人とその家族十九人、水俣病市民会館の目吉フミコ会長ら九人も同行した。出発に



ご詠歌をうたう水俣病患者家族の出発式

一行は定刻通り、列車に乗り込み安房岡体に見送られ出発した。

訴訟代表弁護士佐藤さんや副代表に選んだあつ、渡辺さんと水俣病市民会館目吉フミコ会長が「江頭社長は公害認定時一軒一軒呼び回した。誠意をもって補償します」とも言った。しかしそれがまた蘇わっていない。今から乗り込みます」と簡潔に出発のあいさつ。引き続き新日鐵労組岡本通明委員長、同長野春利執行委員、市民会館松本勉事務局長らが「企業責任を徹底的に追及してきてください」と励ました。

このあと「水俣病でなくなった方たちのミタマにたてまつる」とご詠歌をうたい、マイクにのった鈴証（れいしょう）の音が工場一帯に響いた。

途中、船本駅からは「船本・水
俣村を待路する会」の会員も合
流、一行は午後二時半より、厚志
駅に到着したあと同日夕「福岡・

水俣村を待路する会」「主催の歓迎
を兼ねた激励集会」に出発する。こ
一行は福岡市内で一日、二十六
日午前博多駅発の特急はごろとまで

広島に回つた。取材記念集会を
たあつた。広島主催の「交流会する
会」の会員たちとの交流集会に参
加する。二十七日午後大坂入り

し、二十八日大坂市厚生集会分館
ホールでのびのびと松山集会に参
加する。